

管理部・ヘッダ部の運用整理表

Table with columns: 通番, 資料(情報)名, 運用種別情報, 情報名称, 運用処理用, 具体電文内容, 備考. It lists various weather information types and their operational details.

EditorialOffice/PublishingOffice

気象庁本庁、及び東京管区気象台が発する情報に関して、本XML電文ではEditorialOfficeを常に「気象庁本庁」とする。PublishingOfficeについては、表中の括弧書きに従う。

ReportDate/TargetDate/ValidDate

記載は、その時刻が業務的に持つ意味と、時刻の示す業務上の単位(精度)を示す。*表記は当該要素を利用しないことを示す。※印の意味は以下の通り。

EventID

※1 桁数で表記する。なお、同一地域であっても、気象地震速報(震度速報)以上、自動処理による発表と、津波警報・津波情報・津波情報(長期地動観測)に関する観測時刻(以上、手動による発表)の間でEventIDが一致しないこともある。

Serial

※1: 台風に際して必要時に発表する全般台風情報のうち、台風に発生したと必ず発表する「発生情報」において、通報を用いた「空ゲ」とする。

Code値の出現する要素

Head部における各種コード値を格納できる要素「Code」要素において、コード値が出現する際の観測要素名を資料(情報)名別に表記する。